

自主検証実施結果報告書

年 月 日	
(宛先)	消防署長
報告者（電話 番）	
住 所	
氏 名	
次のとおり検証を実施いたしましたので報告します。	
所 在 地	富山市
名 称	用途
検 証 日 時	年 月 日 () 午前・後 時 分から
検証実施責任者 職・氏名	
火災想定場所	階 室
防火管理体制	勤務体制(夜間) 勤務者 (内訳 男性 人、女性 人)
	火災確認者が待機している場所 階 室
検証訓練参加者	従業員 人 従業員以外 人 合計 人
※受 付 欄	※経 過 欄

- 備考 1 報告者が法人である場合は、その名称及び代表者氏名を記入すること。
 2 夜間の宿泊又は収容施設を有する場合は、夜間の防火管理体制を記入すること。
 3 この報告書は、自主検証実施後7日以内に提出すること。
 4 ※印の欄は、記入しないこと。

測定項目	計時測定の時点		時間	
火災現場確認	自動火災報知設備が発報した時点から、火災現場に行き、出火室入口のドアを開けて火災を確認し「火事だー！」と2回叫んだ時点まで。		分	秒
119番通報	自動火災報知設備が発報した時点から、119番通報を終えて受話器を置いた時点（非常通報装置の場合は、押しボタンを押す動作）まで。		分	秒
館内連絡	自動火災報知設備が発報した時点から、非常放送（非常放送設備がない場合は、肉声等で全館に連絡）で避難の指示（3回繰り返す）が終了した時点まで。		分	秒
初期消火	自動火災報知設備が発報した時点から、消火器（15秒間保持）又は屋内消火栓（30秒間保持）の操作が終了した時点まで。 〔使用した設備： 消火器・屋内消火栓 〕		分	秒
火災階・出火区画の避難誘導	自動火災報知設備が発報した時点から、火災階等の避難誘導が終了した時点まで。		分	秒
非火災階・隣接区画の避難誘導	自動火災報知設備が発報した時点から、非火災階等の避難誘導が終了した時点まで。		分	秒
上階・縦穴隣接区画の避難誘導 (旅館・ホテル等は対象外)	自動火災報知設備が発報した時点から、上階隣接区画等の避難誘導が終了した時点まで。 (注：6項イ・6項ロでスプリンクラー設備がある場合は対象外)		分	秒
対応行動	マニュアルで定めた行動を行ったか		良・否	
※ 限界時間	火災階・出火区画	分	適合・不適合	ランク
	非火災階・隣接区画	分	適合・不適合	
	上階・縦穴隣接区画	分	適合・不適合	